

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-42	令和5年度「第1回墨田区がん対策推進会議」		
開催日時	令和5年8月23日（水） 午後1時半から午後3時まで			
開催場所	墨田区役所3階31会議室			
出席者数 （19人）	【外部委員】 渡邊清高、五嶋孝博、福井一人、鴨川大助、武井和彦、白石弘子、桜井なおみ、椎名美恵子、駒場誠弥、高木恒子 （敬称略）（計10人） 【部内関係者】 保健衛生担当次長、向島保健センター所長、本所保健センター所長、保健予防課長（計4人） 【事務局】 保健計画課長、保健計画課健康推進担当主査2人 保健計画課健康推進担当主事2人（計5人）			
	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議 題	1 開会 2 委員及び関係課長の紹介 3 墨田区がん対策推進会議及び専門部会の概要について 4 がんの現状について 5 議事 （1）墨田区のがんを取り巻く現状について （2）令和5年度がん対策事業の実施予定について （3）その他 5 閉会			
配 布 資 料	【机上配布資料】 1 「墨田区がん対策推進会議」委員名簿 2 令和5年度「墨田区がん対策推進会議」の概要 3 令和5年度 墨田区がん対策推進会議「がん検診精度管理部会」の概要 4 がんの現況について 5 墨田区のがんを取り巻く現状（最新データ） 6 各がん検診の月別実績（令和元年度～令和4年度比較） 7 令和5年度がん対策事業の実施予定について 8 がん患者ウィッグ等費用助成事業について 9 ご意見・ご質問シート			

会 議 概 要	1 開会 2 委員及び関係課長の紹介（省略） 3 墨田区がん対策推進会議及び専門部会の概要について 資料2～3に基づき、事務局より説明 4 がんの現状について 資料4に基づき、渡邊会長より説明 【意見・質問等】 桜井委員：東京の拠点病院は少なく感じる。国の「誰一人取り残さないがん対策」を進めるためには格差の是正等が重要なポイントであると思う。墨田区はがんの死亡率が高い現状がある。今後の墨田区のがん対策として、どこに重点的に力を入れるか委員の皆さんと考えていきたい。 5 議事 （1）墨田区のがんを取り巻く現状と各がん検診の実績について 資料6・7に基づき、事務局より説明。 【意見・質問等】 渡邊会長：墨田区民のがん死亡率が非常に高いことや、健康状態が良くないことなどの報告があったが、日ごろの民生委員の活動の中で、そういったことを感じられるような場面が何かあるか、高木委員に伺いたい。 高木委員：女性のがんの1位は「肺がん」であるが、喫煙をしていないため自分には関係ないと感じている方がいる。原発や転移のこともあり説明しづらい。罹患率の順位ありきではない啓発が必要ではないか？ 渡邊会長：たばこの喫煙及び受動喫煙だけが肺がんの原因ではないことを踏まえた受診勧奨が必要である。 桜井委員：要精検率がいずれの部位に対しても数字が良くないが、背景要因等は把握されているか。 渡邊会長：ここ2年はどのがんも精検受診率が低いようである。区で背景要因等を把握されているか？ 事 務 局：要精検率が高い理由として、医療機関において経過観察中の方を検診に回していたりするケースがあると聞いており、要因ではないかと推測する。また、精検受診率については、特に大腸がんでは、一次検査は検便で受診しやすいが、二次検査の大腸カメラはハードルが高い。高齢者の方には体力的に困難であり、診療所で精密検査を行っていないことも要因であり各自治体においても課題となっている。 （2）令和5年度がん対策事業の実施予定について 資料7の個別目標1に基づき、事務局より説明。
----------------	---

	【意見・質問等】 渡邊会長：薬剤師会白石委員、禁煙医療費補助事業の現況や、薬剤師会の禁煙対策についてお聞かせいただきたい。 白石委員：禁煙サポート薬局の募集をして、24の薬局が参加しサポート事業を行っている。（禁煙治療薬）チャンピックスが入ってこず、禁煙物資がニコチネルパッチしかない。禁煙サポート薬局の研修会を行っており、墨田区の現状をお伝えしている。 渡邊会長：区では、歯科医師会の協力のもと、妊娠中と出産後の2回、歯科検診を実施している。実際に禁煙などの啓発をしているなかで、武井委員にお気づきの点などコメントをいただきたい。 武井委員：成人歯科健診等で口腔がんについても診ていることを伝えている。小中学校では、学校医が保護者に対して説明し、今年度の取組としてたばこのパンフレットを用い授業をする。 渡邊会長：向島歯科医師会の鴨川委員にお伺いしたい。 鴨川委員：健診をきっかけにし、声掛けをし、がん検診等詳しい検査へ繋げられるよう案内する。 （３）令和５年度がん対策事業の実施予定について 資料７の個別目標２に基づき、事務局より説明。 【意見・質問等】 渡邊会長：福井委員は、精度管理部会にもご出席いただき、がん検診の様々な課題解決に向けてご尽力いただいている。区のがん検診事業はどういったところが課題かお伺いしたい。 福井委員：今年度から開始した胃がん検診の期間拡充について、まだ効果の実感が薄い。受診期限までの動きを確認し効果を検証したい。 渡邊会長：五嶋委員にお伺いしたい。区のがん検診においては、医療機関との連携が重要だが、都立墨東病院では、今後、区のがん検診事業との連携で考えられそうなことはあるか。 五嶋委員：がんの二次検診が都立病院の役割であると考えて。昨年秋からコロナ禍以上に病院の活動を行っている。また昨年８月に厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院として指定を受けたため、検査だけでなく協力ができると考える。 渡邊会長：精密検査を受けやすい環境づくりも含めて連携を進めていただきたい。 （４）令和５年度がん対策事業の実施予定について 資料７の個別目標３・４に基づき、事務局より説明。 【意見・質問等】 福井委員：個別目標３のがん教育推進会議は保健計画課と教育委員会とどちらが中心で行っているのか。 事務局：事務局は保健計画課中心で行っている。 高木委員：がん患者ウィッグ等費用助成事業の申請について、お薬手帳の内容でが
--	---

	ん患者であるということがわかるのか。 渡邊会長：内服の場合はわかる。 桜井委員：今回がん患者ウィッグ等費用助成事業が始まり非常にありがたい。他区でも申請が30件以上あり、ニーズの高さが伺える。対象者一人につき一回の助成について管理が難しいと聞き及んでいる。事業実施の市区町村間で共有できるとよい。 渡邊会長：訪問看護、在宅看護のことで椎名委員からコメントをいただきたい。 椎名委員：コロナの影響か、入院をせず自宅での看取りが増えている印象がある。 渡邊会長：緩和ケアの現状を踏まえて駒場委員にコメントをいただきたい。 駒場委員：緩和ケアの連携として10月4日に緩和ケア普及啓発活動「オレンジバレーンプロジェクト」で公開講座と専門職向けの緩和ケア学習会を行う。中央拠点病院・緩和ケア病院・在宅のトライアングルの連携で、患者さんへの説明会を行っていく。 桜井委員：ライフステージに応じたがん対策で在宅と関連するが、小児、特にAYA世代は患者調査でも、費用面の苦慮をされている方が多い。世田谷区など支援ができている区があるため、墨田区でも療養終末期の支援についてご検討いただきたい。 椎名委員：訪問診療についてAYA世代の依頼がなく疑問に思う。保健所で訪問看護の利用について周知をお願いしたい。 渡邊会長：AYA世代への助成は介護保険の対象年齢ではないため、制度からこぼれ落ちてしまう方が多い。自治体でニーズの有無について調査し、支援制度ができるとよい。 桜井委員：AYA世代の方は、介護保険で用具を借りられず、在宅医療の環境が整わない。全額自己負担だと医療機関の中で最期を過ごすしかない現状である。支援の仕組みがあるだけでも、患者のご家族が安心できるのではないかと思う。 椎名委員：訪問看護は医療保険が使える。小児であれば公費のみで訪問看護が可能である。福祉用具等、訪問看護師は在宅の知識が豊富である。いろいろ繋げていくことができるので、有効にご活用いただきたい。 渡邊会長：たくさんの意見に感謝する。各専門部会において皆様のご意見を踏まえてさらに議論を深め、可能であれば反映していただきたい。次回会議には内容について、事務局から報告した上で、皆様のご意見をお伺いしたい。以上をもって、本日の議事はすべて終了となる。 5 閉会 会議の概要は以上である。
所 管 課	福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課 健康推進担当 （内線 3535）